

和名	分類	特徴ほか	会える場所											
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
オオムラサキ	タテハチョウ科	里山のシンボル ダイナミックな飛翔 重厚感のある紫の輝き	X	X	X	全国								
			成虫発生時期 (月)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			食草 ○ 食樹		発生回数/年		越冬形態							
			エノキ		1		幼虫							



山梨県 7月2日 (2020年) 樹液が出ているクヌギに集まる。カナブン、アオカナブンが見える

「里山」とはウィキペディアによると「集落、人里に隣接した結果、人間の影響を受けた生態系が存在する山をいう」とありますがその里山のシンボルとも言えるのがこの国蝶オオムラサキです。かつては武蔵野の雑木林には普通にいたタテハチョウですが、里山の減少に伴い急速に数を減らし各地で保護活動も盛んです。少し小型ですが「コムラサキ」は明るいところを好んで飛び回り光の方向に強い紫の幻光を発します。



山梨県 7月12日 (2020年) ♂は樹液の他にミネラル、水分を吸う姿がよく見られる



コムラサキ 長野県 8月2日 (2003年) 紫の幻光は強い



山梨県 7月26日 (2011年) ♀



山梨県 7月2日 (2020年) クヌギの樹液に集まる♂たち



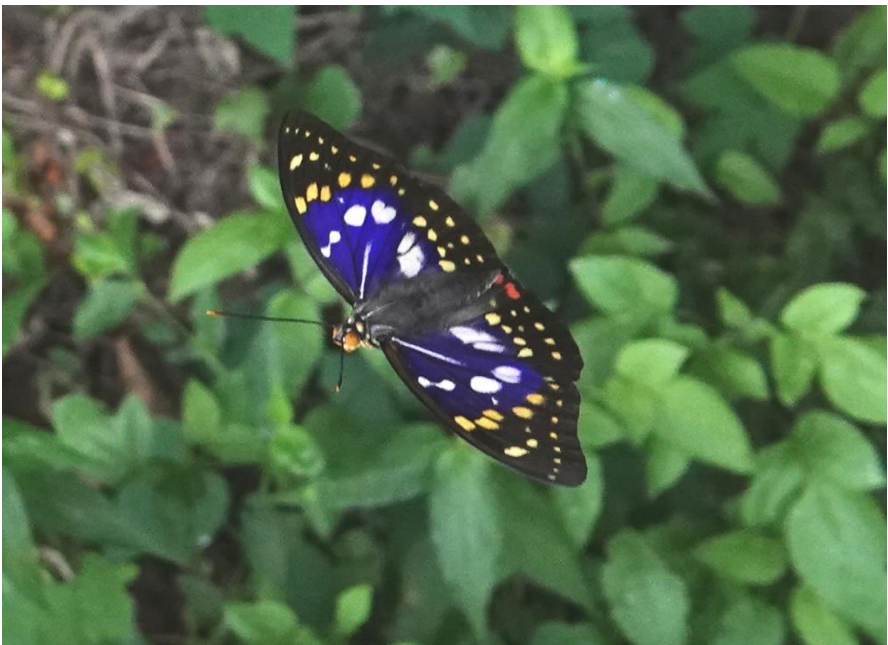
山梨県 7月7日 (2021年) ♂

木質系のものもとまって
ミネラル?を吸っている



山梨県 7月7日 (2021年) ♂

飛翔は速いのでなかなか姿を
捕えにくい



山梨県 7月7日 (2021年) ♂



← 東京都 8月4日 (2021年) ♂

山頂で開翅してテリトリーを張る。
上空を滑空する姿は迫力満点

山梨県 7月16日 (2021年) ♂ →

薄暗いクヌギ食堂に光を当てると
樹液が結晶化しているのがわかる



山梨県 7月12日 (2020年) ♂ ミネラル補給。この厚みのある深い紫！